

報道機関各位

人権尊重のまちづくり講演会 in みのわ

「夢に向かって～ゴールボールで世界に挑戦～」を開催します

箕輪町人権尊重のまちづくり審議会と箕輪町教育委員会では、人権尊重のまちづくりに向けた人権啓発活動として、ゴールボール女子日本代表選手でロンドンパラリンピック金メダリストの安達阿記子さんを講師にお招きし、下記のとおり人権尊重のまちづくり講演会 in みのわを開催します。

日 時

平成 30 年 1 月 28 日（日） 開場 13 : 30 開演 14 : 00

場 所

箕輪町文化センター ホール

題 名

夢にむかって ～ゴールボールで世界に挑戦～

講演者紹介講演者 あだちあきこ 安達阿記子 さん

ゴールボール女子日本代表選手 ロンドンパラリンピック金メダリスト

福岡県出身（詳細はチラシ参照）

その他

- ・ゴールボール紹介のため、ステージ上で若干名の方にゴールボールの体験をしていただきます。
- ・入場料無料
- ・全席自由

添付資料

有

無



文化スポーツ課 文化スポーツ係
(課長) 唐澤 勝浩 (担当) 藤澤 幸子
電 話 : 0 2 6 5 - 7 0 - 6 6 0 2
F A X : 0 2 6 5 - 7 9 - 6 3 6 8
E - mail : shougai@town.minowa.lg.jp

夢に向かって

〜ゴールボールで世界に挑戦〜

講師

安達 阿記子

ゴールボール女子日本代表選手
ロンドンパラリンピック金メダリスト



日時 平成30年

1月28日(日)

開場=13:30 開演=14:00

入場料

無料

全席自由

ゴールボール
体験有り

若干名

場所

箕輪町文化センター

[会場住所] 箕輪町大字中箕輪10291番地

- ◆お問合せ先
箕輪町文化センター ☎0265-70-6601
- ◆主催
箕輪町教育委員会・箕輪町人権尊重のまちづくり審議会
- ◆後援
みのわ新聞社・長野日報社・伊那ケーブルテレビジョン(株)

あ だち あ き こ 安達 阿記子

ゴールボール女子日本代表選手
ロンドンパラリンピック金メダリスト

1983年9月10日生まれ、福岡県出身。
14歳のときに病気のため右目が視覚障害になる。その後20歳のときに左目も視覚障害に。
2006年に国立福岡視力障害センターへ入所した際、ゴールボール競技と出会う。その翌年にはブラジルでの世界選手権、2008年には北京パラリンピックに出場。その後も海外遠征で試合を重ね、2012年ロンドンパラリンピックの日本代表選手として選出され、本大会で悲願の金メダルを獲得。パラリンピックの団体競技における日本の金メダル獲得は史上初の快挙である。2015年、IBSA ゴールボールアジア・パシフィック選手権大会優勝。決勝戦で決め手となる得点を入れ、2016年リオデジャネイロパラリンピック出場権獲得。

選手活動の傍ら、ゴールボールの普及や「心のバリアフリー」推進のため、各地での講演や競技体験会などを実施。自身のこれまでの人生から、「できること」に注目する重要性や夢を持つことの尊さ、あきらめないことの大切さを伝えている。アスリートとしてのストイックな姿勢を持つ反面、穏やかで謙虚な人柄により、学校での特別授業の人気が高い。また、ゴールボールは視覚障害者向けの団体スポーツであるため、「声や音のみで正確な情報をチームメイトに共有する」ことが非常に重要である。その競技特性から、企業でのコミュニケーション力向上、チームワークビルディングのための研修にも用いられている。最近では、スポーツを通じて楽しみながらスキル向上が図れると注目を集めている。

経 歴

- 1983年 福岡県に生まれる
- 1997年 病気の発症により、右目が視覚障害になる
- 2002年 左目も視覚障害になる
- 2006年 福岡視力障害センター入所(ゴールボールと出会う)
- 2007年 第3回IBSA世界選手権大会出場
- 2008年 北京パラリンピック出場
- 2009年 リーフラス株式会社入社
- 2010年 アジアパラ競技大会2位 2012ロンドンパラリンピック出場権獲得
- 2012年 ロンドンパラリンピック 女子団体ゴールボール 金メダル獲得
2012年度九州運動記者クラブ・特別賞受賞
- 2014年 インチョン2014アジアパラ競技大会 銅メダル獲得
- 2015年 Malmö Lady Inter Cup 2015 Goalball tournament 銅メダル獲得
IBSA ゴールボールアジア・パシフィック選手権大会優勝
2016リオデジャネイロパラリンピック競技大会出場権獲得

